

近年、社会体育の分野で活動するために各種公認指導者の資格を取得しようとする学生が増加しています。本学のスポーツ科学部は日本レクリエーション協会の、レクリエーション・インストラクターとレクリエーション・コーディネーター養成講座課程認定校となっています。

現代社会学部生においても、レクリエーション・インストラクターの資格取得希望者は学部所定の資格科目を全て修得し、スポーツ科学部と同様の手続き申請をすることで資格を取得することができます。

## レクリエーション・インストラクター

**(1) レクリエーション・インストラクターとは** 余暇やレクリエーションに関する理論と実技の基本的な学習を積み、レクリエーションを「楽しく教える」指導者です。また、地域に根ざしたレクリエーションサービス事業に、主としてボランティアスタッフとして関わります。例えば、ニュースポーツの教室やウォークラリーなどのイベントの運営スタッフとして関わります。

**(2) 資格取得の方法** 卒業までに(5)「レクリエーション・インストラクター」資格科目一覧表の単位を修得し要件を満たす必要があります。スポーツ科学部のみ3年生から資格申請ができます。(現代社会学部生は、4年生の秋学期に手続きを行って下さい。)

**(3) 資格申請の時期**

- ①レクリエーション・インストラクター説明会を3月下旬の資格説明会で行います(スポーツ科学部生対象)ので、希望者は参加して下さい。早期から計画的に履修・修得して下さい。(現代社会学部生は2年生から体育学部科目を履修可)
- ②資格取得希望者は取得希望届を4年生の4月に提出します。
- ③4年生の10月初めに資格申請手続きを行います。詳細は、ALBO で案内します。

**(4) 資格登録費** 16,000円

### (5)「レクリエーション・インストラクター」資格科目一覧表

レクリエーションインストラクター講習科目		時間数	本学の開講科目	単位	開講学年	開講学部	要件	
理論 15H以上	レクリエーションの基礎理論	4・5以上	レジャー・レクリエーション論	2	1年	スポーツ科学部	修得	
	レクリエーション支援論	4・5以上						
	レクリエーション事業論	6以上						
実技 36H以上	コミュニケーションワーク	6以上	レクリエーション基礎実習	1	1年	全学共通科目	7科目の中で2科目2単位を修得	
	目的に合わせたレクリエーション・ワーク	9以上	個人スポーツ A 個人スポーツ B チームスポーツ A チームスポーツ B	各1	1~4年			
	対象に合わせたレクリエーション・ワーク	6以上	フィットネス A フィットネス B					
	演習1	7.5以上	健康管理実習					
	演習2	7.5以上	レクリエーション指導法I					2
レクリエーション指導法II			2	2年				
現場実習 9H以上	現場実習 ★事業参加について	9以上	①	レクリエーション指導法I	2	2年	スポーツ科学部	①~③の中でどれかを修得
				レクリエーション指導法II	2	2年		
			②	健康運動指導法	2	3年		
			③	教育実習I	5	3・4年		

★ 事業参加について

- 現場実習は本学開講科目で修得できますが、学外で事業参加体験ができます。事業参加は、愛知県レクリエーション協会運営イベントの中でレク・インストラクター補助等を行います。レクリエーション現場でインストラクターの役割を理解できますので、体験しておくといでしょう。詳細については、教務課窓口にお問い合わせください。
- 事業参加は、愛知県レクリエーション協会ホームページ掲載の県内各レクリエーション協会主催イベントの中から選択できます。愛知県レク協会ホームページアドレス <http://rec-aichi.sakura.jp>

**(6) 履修方法について**

- ①資格取得希望者は、スポーツ科学部の時間割を確認し教務課窓口でレクリエーション・インストラクター受講届を提出し、履修申請をします。
- ② CUBICS 履修登録で自由に履修登録できませんので注意して下さい。
- ③スポーツ科学部科目を履修する場合は、開講学年の上級学年になってから履修して下さい。たとえばレクリエーション論は1年開講なので2年生で履修できます。